

国語

名前 _____

まとめテストの範囲は、長文が実力問題、語彙が第1回から第5回の内容（宿題その一・その二）、漢字が漢字練習プリント01～04、となります。

取り組んだ日付を記入しよう。取り組めなかったものには×をつけよう。

基本メニュー（☆☆☆） 全員が必ずやるべきもの	日付
① 第4回 宿題その一（知らなかった言葉がでてきたら、意味までふくめて覚えましょう。）	
② 第4回 宿題その二（空欄の前後を読み、手がかりに線を引いて解きましょう。）	
③ 第4回 宿題その三（解答の手がかりや問題の条件等に線を引いて解きましょう。）	
④ 第4回 授業でメモしきれなかった部分を、後から思い出して追記しておく。	
⑤ 漢字練習プリント01～04を進める（次の国語授業で04の漢字テストを行います。）	

応用メニュー（☆☆） 余裕があればやるもの	日付
① 第4回 授業で解いた設問の復習【記号選択】 （授業中のメモを見てどうしてその答えになるのか確認しましょう。特に、正しくない選択肢は「どの部分が正しくないのか」まで確認できるとよいでしょう。）	
② 第4回 授業で解いた設問の復習【記述】 （×または空欄だった問題はメモを見ながらでよいのでもう一度自分の力で書いてみましょう。次の国語授業時に提出があれば添削して返却します。）	

語彙動画

語彙に興味を持って親しんでもらうことを目的とした動画を紹介しています。動画を見ることが宿題というわけではないですが、動画で映像を見ることを通じて、語彙に親しみ、面白さに触れてもらったり、意味の理解を深めていったりしてほしいと思います。



語彙コント

語彙動画の視聴を習慣化して、楽しく語彙を増やしましょう。
毎朝1本ずつ見るとよいでしょう。

担当からの連絡

今日の話でも、いたるところに「対比」がありました。ノットとシンドの対比という大きな対比はもちろんですが、例えば「意外（予想外）」などの小さな対比にも気づけるように授業を進めています。その際に、メモをとることで、授業で扱った内容を思い出す手がかりになります。ですから、メモを残していれば、まずは評価してあげてください。新4年生の現時点では、大人の目から見て上手にまとめられる子はまだまだ少ないです。しかし、メモの内容は一旦置いておいて、メモをとることで自分に対して評価することで、積極的にメモをとろうという気持ちが引き起こされます。このような経験をより多く積むことを通じて、「聞く→考える→まとめる」という力がついてきます。